

有明の丘研修

1. 周知・募集の取組み（第1期）
2. ワーキンググループの検討状況
3. 「防災基礎」コースのアンケートによる
受講者ニーズの把握方法
4. 有明の丘研修での人的交流の取組み

1. 周知・募集の取組み（第1期）

1）有明の丘研修（第1期）に向けた周知・募集の改善

令和5年度の応募状況

- ・一部のコースで定員(60名)を下回る応募実績（第2期の平均応募倍率0.75倍）
- ・受講者アンケートからは「早期に日程を知りたい」、「職位の考え方やパッケージ受講が分かりにくい」といった意見が見られた。
- ・人的ネットワークの取組み（オープニング交流会、全体交流等）が募集時に明示されておらず、参加者が少なかった。

➡ 上記を踏まえ、**募集時の周知について改善**を図った。

i .研修の実施状況の周知

- a. 早期掲載 ：募集開始前（R6.3月）から開催日程をホームページに掲載
- b. 職位別演習：(昨年度に引き続き) 職位別演習スケジュール・内容を募集要項・ホームページに掲載
- c. 説明追記 ：
 - ・コースの位置づけ、オープニング交流会、演習（対面）等の説明を追記
 - ・職位別、パッケージ受講コース等の選び方の説明を改善

➡ホームページ、パンフレット等での効果的な周知については、引きつづき検討していく。

ii .人的交流に関する取組みの掲載

- a. オープニング交流会について、趣旨や内容等を募集要項等で周知した。

iii .関係省庁と連携した募集

- a. 昨年度と同様に関係省庁（国土交通省、厚生労働省、環境省）からも、都道府県・市区町村担当部局あてに案内文書の発出を行い、より多くの参加者を募集した。
国交省：災害復旧事業部局、厚労省：保健医療福祉部局、環境省：廃棄物部局

参考：募集要項及びホームページでの掲載状況（一部抜粋）

防災スペシャリスト養成研修

ホーム 事業概要 研修のご案内 受講申込 お問い合わせ 関連リンク



来るべき自然災害に備えて

自然災害に備える 国や地方公共団体職員向けプログラム

災害多発時代を迎え、「ゆるぎない強靱な日本」を構築するためには、阪神・淡路大震災の経験を語り継ぎ、東日本大震災が残した課題や教訓を活かして、政府、地方公共団体及び指定公共機関全体の防災力の一層のレベルアップを継続的に進めていかなければなりません。

そのためには、南海トラフ地震・津波、首都直下地震そして火山噴火などの自然災害に対して、国、地方公共団体及び指定公共機関が連携し、国民の総力を挙げて「国難」を乗り越えるための体制と備えを構築することが重要です。

国や地方公共団体を対象とする全国規模の「防災スペシャリスト養成研修」は、これら防災対策の推進に極めて重要な事業です。

令和6年度有明の丘研修は、
・座学（講義）は、オンデマンド形式
・演習は、集合形式（対面）
で行います。

令和6年度の開催について

○令和6年度の開催

令和6年度は、令和5年度と同様に年2回開催します。

- ・日程
(R6第1期) 講義：09月～10月 演習：10月～ (パンフレット/募集要項)
(R6第2期) 講義：01月～03月 演習：3月～ (予定)
- ・形式
(講義) LMSによるオンデマンド講義（約4週間）
(演習) 東京湾臨海部基幹的広域防災拠点（有明の丘施設）にて対面で実施（1日）
→【参考】令和5年度（第1期）演習等の実施状況はこちら

○演習を対面で実施する意義

対面での演習により、講義動画で得た知識が行動に結びつき、個々の知識を関連付けてまとめ、適切な行動をとるために必要な知識の体系化が図られます。また、他の受講者と顔の見える関係となり、お互いに知らないことを教えあう、平時にも、いざというときに相談できる仲間を得ることができます。

お知らせ

▶ お知らせ一覧

募集 2024年07月30日
令和6年度有明の丘研修 第1期 の募集
は、7月31日（水）13時からです。

募集 2024年04月15日
令和6年度有明の丘研修 防災基礎コース
（シーズン1）の募集は締め切りしました。

募集 2023年12月18日
令和5年度有明の丘研修（第2期）は募集
を締め切りしました。

募集 2023年12月04日
令和5年度有明の丘研修（第2期）の受講
申し込みは、12月4日（月）13時から受付
を開始しました。

募集 2023年08月17日
令和5年度有明の丘研修（第1期）は募集
を締め切りしました。

開催日程を 掲載

■ 受講希望コースの選び方

〔自由選択〕

- ・応募にあたっては、応募条件を満たした上で、関心のあるコースを自由に選択することができます。選択するコースは、1つでも、複数でも構いません。
- ・なお、災害への備え、警報避難、被災者支援などの災害対策を学ぶコースでは、演習等を職位別に行うことがあります。そのため、コース②～⑥を希望する場合、さらに、実務担当コースか一般管理コースかのいずれかを選んでいただきます。
- ・また、指揮統制、対策立案、人材育成などの組織運営を学ぶコース⑦～⑩については、以下の職位のうち、上級管理の方々の受講を想定しています。

コースの選び方等を含め、全体的に見直し

職位	災害時の役割の例
実務担当： 災害対応における各班の実務を担当する職員	災害対応組織の班員 関係部局からの支援要員 等
一般管理： 災害対応の各業務の指揮・活動調整（応援受援業務を含む）を担う班長等の職員や将来見込まれる職員	災害対応組織の班長 等
上級管理： 災害対応の意思決定や全体指揮にあたる者やそれを補佐する職員	災害対策本部副本部長 危機管理監、本部員 等

※ 応募にあたっては、ご自身の職位も踏まえて、受講希望コースをお選びください。

〔パッケージ〕

- ・職位等に応じて、複数のコースを優先的に受講できる以下のパッケージでの申込みも可能となっています。

パッケージ	内容
実務担当パッケージ	災害対策を学ぶ5つ(コース②～⑥)の実務担当コース
一般管理パッケージ	災害対策を学ぶ5つ(コース②～⑥)の一般管理コース
上級管理パッケージ	組織運営を学ぶ4つのコース(コース⑦～⑩)
地域防災マネージャーパッケージ	一般管理パッケージと上級管理パッケージをあわせたもの

※ 自由選択とパッケージを同時に申し込むことはできません。また、パッケージはいずれか1つだけ申し込むことができます。

ホームページでの日程の掲載状況

募集要項の掲載状況（一部抜粋）

2. ワーキンググループの検討状況

1) コース コーディネーターWG

議題：

- ・ 検討会において、議論された有明の丘研修のリニューアルについて、各コースでどのように実現するか

1)15分1区切りの単元構成、2) 職位別研修単元の創設、3) 職位別演習の実現

「防災基礎」コース コーディネーターWG（第1回）まとめ

コース	単元	コーディネーターからの意見
① 防災基礎 牛山CD	<必修> 風水害／地域の脆弱性と被害の実態／災害法体系・防災計画・災害への備え／災害から命を守る／被災者の応急救助／災害から暮らしを守る／災害時の応援・受援体制／災害から回復する／多様な視点からの災害対応 <選択> 地震・津波災害のハザード／火山災害のハザード／大規模地震対策①首都直下地震の対策／大規模地震対策②南海トラフ地震の対策／大規模地震対策③日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の対策／大規模地震対策④東日本大震災の教訓	<防災基礎のリニューアル> ・ 見直しを進めるために、まずは受講者のニーズを調査してみてもどうか。 ・ 防災基礎コースでは受講者像を定めすぎず、幅広い人が受講できるほうが良い。 <アンケートによるニーズの調査> ・ コマ(15分)ごとに「参考になった」、「役に立った」を5段階評価で確認してはどうか。 ・ コース最後のアンケートで「防災行政に携わる人で特に重要だと思う科目」、「自分にとって役に立った科目」を理由つきで挙げてもらってはどうか <コースの見直しを進めるため受講実態の把握> ・ 見るのを後回しにされた単元や視聴された回数が少ない科目を整理してみてもどうか。 ・ 未終了の受講者がどの科目を見てないのかを調べてはどうか。 <本年度の変更点>カリキュラムは大きく変更しない

「災害対策」コース リニューアルWG（第1回）

- 1) 15分1区切りの単元構成 2) 職位別研修単元の創設 →本スライド
3) 職位別演習の実現→スライド6

コース	単元	協議概要
② 災害への 備え 丸谷CD	「災害への備え」としての地域の防災計画／防災教育・災害教訓の伝承／企業防災／行政のBCP、BCM／住民啓発／地域の自主的な防災活動／災害ボランティア	1) 対応可能な単元から15分ごとに整理 2) ・コーディネーターの担当する単元を中心に職位別の内容を検討 ・一般管理について「予算・人事・他組織連携」等マネジメント内容を加えていく
③ 警報 避難 井ノ口CD	警報等の種類と内容／避難情報の発令判断・伝達等／土砂災害・風水害における警報と避難／南海トラフ地震臨時情報／個別避難行動の支援と計画／決心ポイント	1) 研修内容更新ごとに15分枠が崩れてきているので、立て直しが必要 2) ・各災害種(土砂災害、風水害)について職位別を検討 ・一般管理について「状況判断の重要性、情報要求条件、意志決定、市長への進言」等マネジメント内容を加えていく
④ 応急活動・資源管理 宇田川CD	初動対応における国との連携／地方公共団体間の相互応援と受援体制／災害廃棄物処理／救援物資の調達／救援物資の輸配送／活動拠点・環境の確保／救援物資ロジスティクス演習	1) コーディネーターの担当する単元から15分ごとに対応 2) 「災害廃棄物処理」「救援物資の調達／輸配送」「活動拠点・環境の確保（水道）」について、今後、職位別に見直す方向で担当省庁と相談しながら検討を進める。
⑤ 被災者 支援 田村CD	災害救助法と被災者生活再建支援法／避難所ライフサイクル／避難所運営の実例／医療による被災者支援／多様な主体による被災者支援／被災者支援の個別課題／生活再建支援業務／個別避難計画の作成	1) ある程度、15分ごとに対応できている 2) 「避難所」「個別避難計画」「生活再建支援業務」について職位別を検討。職位別のコンテンツ作成に向けた調整や作業を進める。
⑥ 復旧・復興 加藤CD	公共基盤の復旧／仮設住宅／コミュニティ再生／市街地の復興まちづくり／住まいの再建／地域産業の復興と雇用確保	1) 次年度以降の全面リニューアルの中で15分ごとにも取り組む予定 2) ・一般管理・実務担当の機能が必要なことは理解するが、現時点で本コースでは、復旧・復興という業務の特性上、分けない ・講義の内容をこれまでより高次とし、基礎的な部分の学習は自学を促すことも検討

「組織運営」コース コーディネーターWG（第1回）

- ・ 企画検討会の検討状況を共有し、今後の進め方について意見を共有

コース	単元	コーディネーターからの意見
⑦ 指揮統制 林CD	指揮統制の世界標準／指揮統制の現状／日本社会に適した指揮統制のあり方／リーダーシップのあり方／参謀にとっての災害対策本部運営／災害広報	<次年度以降のリニューアルに向けた意見> ・ 一般管理・実務担当を、災害対策本部・現地と考えるのは1つの考え方としてある。組織運営ではその点を踏まえた内容になるのではないかな。
⑧ 対策立案 林CD	指揮統制の世界標準／災害対策本部が行う対策立案プロセス／地図による状況認識の統一とISUTの試み／応急期の政府支援／効果的な災害対応計画・マニュアルの立案／災害対策本部運営演習	<本年度の変更点> ・ 指揮統制コースの対面演習に「災害対策本部の活動のあり方～責任担当期間での活動の流れ～」を新設予定
⑨ 人材育成 黒田CD	訓練・研修の実際／訓練・研修企画手法／状況付与型図上演習／地域防災リーダーの育成／討議型図上演習／人材育成プログラム作成演習	<次年度以降のリニューアルに向けた意見> ・ 来年度以降のリニューアル体制をどうしていくか（サブコーディネーター等の配置も含む） ・ 当初は人材育成を受け持つ管理職級を想定していたが現状は様々な職位の人が混在。職位の異なる人にどう人材育成を考えさせるか。 <本年度の変更点> ・ カリキュラムに大きな変更点なし
⑩ 総合監理 岩田CD	総合防災政策／総合的な被害抑止施策の実施／リスク評価に基づく災害対応の検証／応急対策の実態／大規模災害の検証と対応／災害対策本部体制	<次年度以降のリニューアルに向けた意見> ・ 当初は危機管理監クラスを想定。職位の異なる受講者を相手にどう考えさせるか。 ・ 講演のような形式で「心構え」を学ぶ単元は15分区切りにすることが難しい。 <本年度の変更点> ・ カリキュラムに大きな変更点なし ・ 対面演習の開始時間を10時に変更する。

2）職位別研修の検討状況

拡大した図は参考資料1を参照

- 「災害対策」：「(職位共通)講義」「(職位別)演習」「(職位共通)演習・ふりかえり」の流れで、一般管理・実務担当を並行開催するのは4コース。
- 「災害対策」：1コースは全て「共通」で実施。
- 「組織運営」：従来と同様の演習形式を継続する。開始・終了時間の統一化に取り組む

パターン	一般管理・実務担当を並行開催										職位合同開催		2日連続開催		1日開催		パターン			
コース	災害対策5コース										組織運営4コース						コース			
	災害への備え		警報避難		応急活動・資源管理		被災者支援		復旧・復興		対策立案	指揮統制	人材育成	総合管理						
職位	実務担当	一般管理	実務担当	一般管理	実務担当	一般管理	実務担当	一般管理	実務担当	一般管理	上級管理	上級管理	上級管理	上級管理	職位					
9:45	受付・名刺交換		受付・名刺交換		受付・名刺交換		受付・名刺交換		受付・名刺交換		上級管理	受付・名刺交換		受付・名刺交換		受付・名刺交換		9:45		
10:00	オリエン・演習説明(開始時間)		オリエン(開始時間)		オリエン(開始時間)		オリエン(開始時間)		オリエン(開始時間)			オリエン(開始時間)		オリエン(開始時間)	オリエン(開始時間)	オリエン(開始時間)	10:00			
10:15	次回からこの形式		詳細な構成は検討中		詳細な構成は検討中		前回からこの形式		当面は職位別に分けない			演習 災害広報(記者会見演習) (75分)	演習 訓練企画運営実践Ⅱ (討議型図上演習) (105分)	講義 災害対策本部体制 講義Ⅰ(30分)		10:15				
10:30	質疑応答						講義 避難所のライフサイクルを学ぶ (90分)		復興への備えの必要性 (50分)					講義Ⅱ(15分)		10:45				
10:45																11:00				
11:00																11:15				
11:15																11:30				
11:30	演習 (仮)職位合同演習 (60分)											演習に向けた被害想定の説明		演習 復興まちづくり イメージトレーニング演習説明 & 第1部「生活再建シナリオの検討」 (60分)		昼休憩 (60分)		施設見学 (45分)		11:45
11:45																		12:00		
12:00																受付・名刺交換		昼休憩 (60分)		昼休憩 (60分)
12:15															12:30					
12:30	昼休憩 (60分)														オリエン(開始時間)	災害広報(記者会見演習) (75分)				12:45
12:45											13:00									
13:00											演習 災害対策本部運営演習 (150分)	演習 全体討論 (75分)	人材育成プログラム作成演習 (105分)	演習 災害対策本部体制 (レイアウト作成演習) (105分)	13:15					
13:15															13:30					
13:30															13:45					
13:45	演習 (仮)テーマ別議論 (90分)		演習 (仮)一般管理向け演習 (90分)		演習 避難所の実務 (災害時のトイレ) (120分)		演習 避難所の運営業務／ 全体討論 (120分)		第2部「市街地の課題の抽出と市街地復興シナリオの検討」 (100分)						14:00					
14:00															14:15					
14:15															14:30					
14:30															14:45					
14:45	休憩														内閣府挨拶・写真撮影		講義 事例発表 (45分)	休憩	15:00	
15:00																			15:15	
15:15																			15:30	
15:30											15:45									
15:45	演習 (仮)「災害への備え」 ワークショップ (120分)		演習 (仮)「災害への備え」 ワークショップ (120分)		演習 災害対策本部 避難所班 実務担当＆一般管理 (60分)		演習 第3部「生活再建と市街地復興のバランスの検討」・ 発表 (105分)		第3部「生活再建と市街地復興のバランスの検討」・ 発表 (105分)		休憩		演習 人材育成に関する情報交換会 (60分)	演習 全体討論 (120分)	16:00					
16:00							講義・意見交換 避難所の実務・運営管理を振り返る (45分)								16:15					
16:15															16:30					
16:30															16:45					
16:45											内閣府挨拶・写真撮影			講義 まとめ(15分)	17:00					
17:00	内閣府挨拶・写真撮影		内閣府挨拶・写真撮影		内閣府挨拶・写真撮影		内閣府挨拶・写真撮影		まとめ(15分)						17:15					
17:15									内閣府挨拶・写真撮影		内閣府挨拶・写真撮影			内閣府挨拶・写真撮影	17:15					

3. 「防災基礎」コースのアンケートによる受講者ニーズの把握方法

1) アンケートの見直しの必要性

第1回企画検討会において、防災基礎コースの見直しを進めるため、まずは「**受講者（現場）のニーズ**」の調査・把握の必要性が示された。

第1回企画検討会での主な指摘事項

- 所属する部局や職位によっても必修の範囲が変わってくるため、受講者へアンケートし、モデルプランを提示してはどうか。
- 実施者の狙いと現場ニーズが大事なので、受講者から意見を聞いて、災害現場のニーズを把握してはどうか。

➡上記のご意見を踏まえ、防災基礎コースのコーディネーターに対する協議において、下記のような意見が得られた。

防災基礎コースコーディネーターの意見

- 15分区切りの区分ごとに「参考になった」、「役に立った」を5段階で評価してもらってはどうか。
- コース最後のアンケートで「防災行政に携わる人で特に重要だと思う科目」、「自分にとって役に立った科目」を理由つきで挙げてもらってはどうか。

これまで受講者からの声を直接聞き取る手段として、有明の丘研修では2種類のアンケート（単元別、最終）を実施している。

➡アンケート項目を見直し、**受講者ニーズを把握できるようにしてはどうか。**

2) アンケートへの質問の追加

単元ごとに実施する「単元別アンケート」と全単元視聴後に実施する「最終アンケート」の2種類を実施している。これらのアンケートに赤字の項目を加えてニーズを調査してはどうか。

	単元	区分
	⋮	⋮
3	地域の脆弱性と被害の実態	区分1.自然災害による人的被害の実態 区分2.地域の災害特性 区分3.ハザードマップ 区分4.風水害の防災対策 区分5.我が国の水災害リスクと対策
4	災害法体系・防災計画・災害への備え	区分1.防災行政概要 区分2.災害法体系と災害対策基本法の概要 区分3.防災計画の概要 区分4.大規模災害時における政府の初動対応 区分5.内閣府（防災）における防災人材育成の概要 区分6.地区防災計画と住民主体の災害への備えの概要 区分7.避難行動要支援者の避難支援
5	災害から命を守る	⋮
	⋮	⋮

赤字：新たに追加する項目



単元別アンケート

各単元の満足度、理解度、進め方・視認性を5段階で評価

1. 単元の満足度（100点満点）
2. (区分1)の学習目標の達成度 → 区分の数だけ確認
3. 講義の方法や進め方
4. テキストの視認性
5. その他ご意見（自由記述）



「行政職員」という立場で俯瞰してみたときに、どこにニーズがあるのか把握

全必修単元受講後



最終アンケート

受講目的・理由・環境等、コース構成、15分区切りの構成等について評価

1. 受講のきっかけ、動機・目的、職場の支援状況
2. コース構成、15分区切りの構成（本数・時間等）
3. 多肢選択テスト
4. 受講期間等
5. 行政職員として重要だと思う単元・区分とその理由
6. 必修として必要ないと思う単元・区分とその理由
7. その他ご意見（自由記述）

4. 有明の丘研修での人的交流の取組み

参考：前回（R5年）における「人的交流の取組」

■コース独自の取組み ■共通の取組み

コース		②災害への備え	③警報避難	④応急活動・資源管理	⑤被災者支援	⑥復旧・復興	⑦指揮統制	⑧対策立案	⑨人材育成	⑩総合監理	
取組み	共通	オープニング交流会	【共通】LMS開始直後の時期に内閣府主導の交流会（任意参加）を実施			【共通】に加えプレイクアウトルームを共通と異なるトークテーマで実施	【共通】に加え、コーディネーターから能登半島地震を踏まえた講義を追加で実施	【共通】LMS開始直後の時期に内閣府主導の交流会（任意参加）を実施			
		名刺交換の促し	開始時間前や休憩時間に名刺交換を促すアナウンスを実施								
		施設外会場での交流会	研修終了後に施設外会場で交流会を実施 ※⑦指揮統制、⑧対策立案は合同で実施								
各コース個別	職位合同の質疑応答		昼休みに職位合同の質疑応答を実施	なし	昼休みに職位合同の質疑応答を実施	なし	—	—	—	—	
	自主研修コンテンツの提供		午前／午後の研修の空き時間に受講できる任意参加の自主研修を提供			なし	—	—	—	—	
	一般管理・実務担当を並行開催		なし			「職位共通の講義」 「職位別の演習」 「職位共通の演習・振り返り」を組み合わせ実施	なし	—	—	—	
	外部コミュニティとの連携		なし				防災関係の外部コミュニティへの参加を案内		なし		
	演習班割	入替回数	0回	0回	[実務] 1回 [一般] 0回	0回	0回	0回	0回	2回	1回
		主な班割方法	組織混合		[実務] (1班目) 組織混合 (2班目) 希望テーマ [一般] 自治体規模	組織混合	自治体規模 年齢 土木部局所属 課長級以上 防災業務経験をバランスよく配置	組織混合		(1班目)組織混合 (2班目)自治体規模 (3班目)希望テーマ	(1班目)組織別 (2班目)シャッフル

拡大した図は参考資料4を参照

今年度の演習予定において、
今後どのような「人的交流」の取組みを行っていくと良いかご意見をいただきたい
参考：次回（R6年1期）における演習プログラム

【凡例】 ■ オリエン・開始時間 ■ 職位共通 ■ 実務担当 ■ 一般管理 ■ 自主研修 □ その他(休憩・ロジ等)																																														
パターン	一般管理・実務担当を並行開催								職位合同開催		2日連続開催		1日開催		パターン																															
コース	災害対策5コース								組織運営4コース								コース																													
	災害への備え		警報避難		応急活動・資源管理		被災者支援		復旧・復興		対策立案	指揮統制	人材育成	総合管理																																
職位	実務担当	一般管理	実務担当	一般管理	実務担当	一般管理	実務担当	一般管理	実務担当	一般管理	上級管理	上級管理	上級管理	上級管理	職位																															
9:45	受付・名刺交換		受付・名刺交換		受付・名刺交換		受付・名刺交換		受付・名刺交換			受付・名刺交換	受付・名刺交換	受付・名刺交換	9:45																															
10:00	オリエン・演習説明(開始時間)		オリエン(開始時間)		オリエン(開始時間)		オリエン(開始時間)		オリエン(開始時間)			オリエン(開始時間)	オリエン(開始時間)	オリエン(開始時間)	10:00																															
10:15	次回からこの形式		詳細な構成は検討中		詳細な構成は検討中		前回からこの形式		当面は職位別に分けない			演習 復興への備えの必要性 (50分)	演習 災害広報(記者会見演習) (75分)	演習 訓練企画運営実践Ⅱ (討議型図上演習) (105分)	講義 災害対策本部体制 講義Ⅰ(30分)	10:15																														
10:30	質疑応答						講義 避難所のライフサイクルを学ぶ (90分)		演習に向けた被害想定の説明						復興まちづくり イメージトレーニング演習説明 & 第1部「生活再建シナリオの検討」 (60分)		昼休憩 (60分)		昼休憩 (60分)		講義Ⅱ(15分)	10:30																								
10:45																					演習 (仮)職位合同演習 (60分)								施設見学 (45分)		10:45															
11:00																																							11:00							
11:15																11:15																														
11:30																										11:30																				
11:45																										11:45																				
12:00																										12:00																				
12:15															12:15																															
12:30																									12:30																					
12:45											12:45																																			
13:00																					13:00																									
13:15																					13:15																									
13:30																					13:30																									
13:45																					13:45																									
14:00											演習 (仮)テーマ別議論 (90分)		演習 (仮)一般管理向け演習 (90分)		演習 避難所の実務 (災害時のトイレ) (120分)		演習 避難所の運営業務／ 全体討論 (120分)		第2部「市街地の課題の抽出と市街地復興シナリオ の検討」 (100分)		演習 災害対策本部運営演 習 (150分)	演習 全体討論 (75分)	人材育成プログラム作 成演習 (105分)	演習 災害対策本部体制 (レイアウト作成演習) (105分)	14:00																					
14:15													休憩				14:15																													
14:30																																	14:30													
14:45																																	14:45													
15:00																	演習 (仮)「災害への備え」 ワークショップ (120分)		演習 (仮)「災害への備え」 ワークショップ (120分)				休憩・移動		休憩		内閣府挨拶・写真撮影	内閣府挨拶・写真撮影	講義 事例発表 (45分)	休憩			15:00													
15:15																15:15																														
15:30																																													15:30	
15:45																																														
16:00																																16:00														
16:15															16:15																															
16:30																																										16:30				
16:45																																														
17:00																			内閣府挨拶・写真撮影		内閣府挨拶・写真撮影		内閣府挨拶・写真撮影		内閣府挨拶・写真撮影		まとめ(15分)		内閣府挨拶・写真撮影	内閣府挨拶・写真撮影																
17:15																																														

10

- ① 防災基礎コースにおけるアンケート項目の追加
- ② 有明の丘研修における人的交流の取組方針・内容